

平成28年度、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目的に減災対策協議会が設立され、令和2年度を目処にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進してきました。これまでの取組状況、近年の豪雨災害、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえ、令和3年度からの新たな取組方針を策定しました。また、今年度より鉄道事業者が新たに協議会委員として参加することになりました。

○日時：令和3年5月24日（月）14時～15時45分

○場所：WEB開催

○協議会委員：福知山市長、舞鶴市長、綾部市長、宮津市長、京都府建設交通部部長、京都地方気象台長、西日本旅客鉄道株式会社福知山支社長、WILLER TRAINS株式会社代表取締役社長、福知山河川国道事務所長

オブザーバー：関西電力（株）水力事業本部京都水力センター所長

## 主な議事概要

### ①規約の改正

西日本旅客鉄道株式会社、WILLER TRAINS株式会社の追加に伴う規約変更が承認され、令和3年5月24日より施行します。

### ②各機関の取組方針の実施状況の確認

### ③令和3年以降の新たな取組方針



## 取組方針に基づく実施状況の例

## WEB会議の様子



防災教育の様子（福知山市）



綾部雨水ポンプ場（綾部市）  
【令和3年完成予定】



## 協議会各委員からの意見（抜粋）

■**福知山市**：「要配慮者の個別避難計画の作成」は、市民・行政が一体となり災害に強いまちづくりに取り組みます。

■**舞鶴市**：AIによる街全体の効率的な見守りの実現を目指して、舞鶴市総合モニタリングシステムの開発を進め、防災情報の発信としてより一層取り組みを進めます。

■**綾部市**：啓発チラシの全戸配布、HP等さまざまな手段を用いて避難情報の伝え方の周知を図り、避難行動タイムラインの作成に取り組みます。

■**宮津市**：将来にわたって安全に安心して住むことができるように、国、府、住民が連携し、ハード、ソフト対策を行っていくことが非常に重要であると考えます。

■**京都府**：最近の防災対応としては、水位や画像を配信しており、今後もシステムを整備し継続するための負担も生じるため、計画的に対応していく必要があると考えます。

■**京都地方気象台**：新しい情報がたびたび出るため、防災への活かし方が分かりにくいところもあれば、気象台では地域防災支援として、皆さまのサポートをしたいと考えています。

■**西日本旅客鉄道株式会社**：令和元年の台風19号を受け、ハード面・ソフト面の両面に対する浸水対策の策定を行いました。

■**WILLER TRAINS株式会社**：大きな災害後の早期復旧に向け、また地域住民の足を確保する意味でも、避難をいかに迅速に行うか、という至上命題をしっかりと勉強していきます。

■**関西電力株式会社**：今年度から和知ダムで治水協力として、事前放流を行う予定となっています。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課

〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104（代表）

